讀賣新聞
ワークシート通信
2022年 11月 30日

★★

土俵を彩る美しい化粧まわし

年　　組（　　）名前

サイン

読売新聞 教育ネットワーク
YOMIURI EDUCATION NETWORK

◆大相撲九州場所が終わりました。力士がつけている「化粧まわし」を観察すると、その力士の個性が見えてきます。

化粧まわしをつけて行われる土俵入り

お菓子のキャラクターをあしらったデザインも

個性輝く化粧まわし

きょうの読売新聞 New 読みくらべよう!

化粧まわしは、土俵入りの時だけ身につける、いわば「イベント用」のふんどしです。大きな「前垂れ」は伝統的な博多織や西陣織で作られ、1枚100万円以上もする豪華なものです。

力士の出世を祝い、応援する人たちや企業などが贈ります。そのデザインは、力士の故郷で有名な特産品を描いたものや、お気に入りのキャラクターをあしらったものなど千差万別。志摩ノ海関は人気マンガ「ジョジョの奇妙な冒険」が好きで、登場人物の岸辺露伴のや、ダイヤモンドを織り込んだ1億5000万円の化粧まわしを贈られた力士も。一つとして同じものがない化粧まわしを見れば、力士の人柄や応援してくれている人たちのことが、透けて見えるのです。

出世祝ってプレゼント

と、その名ゼリフが描かれた化粧まわしで注目を集めました。

過去にはピカピカ点滅する発光ダイオード付きのも

※先生やおうちの人といっしょに読みましょう。

（2022年11月17日 読売KODOMO新聞より）

取組で締めるのは「締め込み」

相撲に「まわし」が必要な理由は、力士同士が相手の体をがっちりつかみ、きちんと相撲を取るためです。十両以上の関取が本場所で締める絹製のまわしを「締め込み」＝写真＝と呼びます。

化粧まわしは江戸時代、紀州藩（いまの和歌山県など）の殿様が、家臣の力士に活躍のごほうびとして華やかな締め込みをあげたのが始まりとされています。その後、ししゅうなどが入った締め込みで取組を行う力士が増えましたが、そうした飾りが指にからんで危ないため、じょじょに土俵入り専用の化粧まわしと、締め込みに分かれていったのです。

【1】化粧まわしの重さと長さは、どのくらいあるでしょうか。

【おもさ】	【ながさ】
キロ	メートル

【2】いろいろなマンガの主人公やマスコットキャラクターがデザインに使われています。どのようなものがあるか、調べましょう。

©The Yomiuri Shimbun

讀賣新聞
ワークシート通信

2022年 11月 30日

★★★

皆既月食と惑星食　442年ぶり共演

年　組（　）名前

サイン

読売新聞 教育ネットワーク
YOMIURI EDUCATION NETWORK

◆月全体が欠ける「皆既月食」と、その月の後ろに惑星が隠れる「惑星食」が、442年ぶりに同時に起こりました。それぞれどのようにして起こるのか、考えてみましょう。

左皆既月食で赤黒く見える月。左は東京スカイツリー（11月8日午後7時34分、東京都墨田区で）
右月に隠れる直前の天王星（左下）（8日午後8時39分、東京都千代田区で）

皆既月食と惑星食

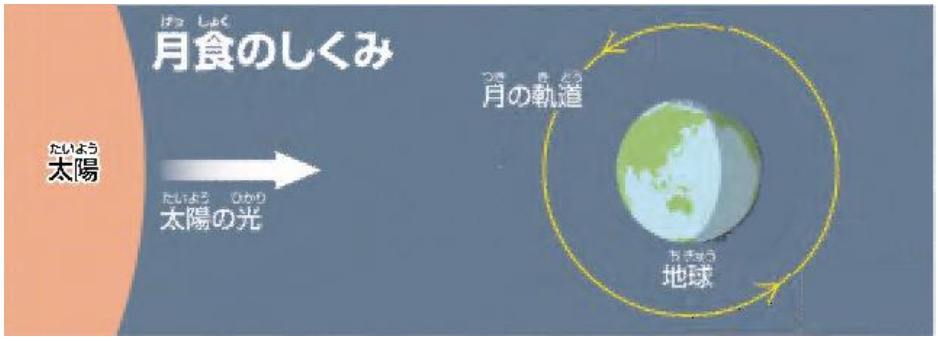
月食は、太陽・地球・月が一直線に並ぶ満月のころに起こります。でも満月のたびに月食になるわけではありません。月の通り道は傾いていて、通常は地球の影から外れた場所を通過するため、満月が見えます。月の通り道が、たまたま地球の影になった部分と重なると月食になるのです。

月の一部が欠けたら「部分月食」、全体が欠けたら「皆既月食」と呼ばれます。

一方、「惑星食」は、太陽の周りを回っている惑星のどれかが、月の後ろに隠れる現象のことです。今回の「惑星食」を起こしたのは天王星だったので、「天王星食」と呼びます。

（2022年11月17日
読売KODOMO新聞より）

【1】皆既月食が起こる時の月の位置を右の図に書きましょう。



【2】地球の影に隠れた月は、真っ暗になって見えなくなるのではなく、赤黒く見えていました。どうしてそのように見えるのかを考え、裏に書きましょう。

©The Yomiuri Shimbun

2022年 11月 30日

★★★★ 黒曜石の旧石器が最古の国宝に

年　組（　）名前

サイン

◆北海道で見つかった旧石器を国宝に指定するよう、文化審議会が答申しました。これまでで最も古い国宝になります。

遠軽の石器 国宝に

白滝遺跡群 旧石器時代の黒曜石

文化

これまでで最も古い時代の国宝が道内から誕生しました！遠軽町の白滝遺跡群で見つかった後期旧石器時代（約3万年～1万5000年前）の黒曜石の石器が国宝に指定されることになりました。この時代の物が指定されるのは全国で初めて。道内の国宝は函館市・著保内野遺跡出土の「中空土偶」（縄文時代）に次いで2例目です。

白滝遺跡群は後期旧石器時代の人々が石器の材料となる黒曜石の原石を集めたり、石器を作ったりしていた場所で、約1万500年間にわたる石器の移り変わりを感じることができます。

旧石器時代の人々が石器づくりで削った石の破片をジグソーパズルのように貼り合わせ、石器づくりの流れがわかるものも国宝に指定されました。20年がかりの調査が実を結びました。

これと同時に、北見市・常呂川河口遺跡の出土品の土器が重要文化財に、小樽市の旅館「銀鱗荘」が登録有形文化財にそれぞれ決まりました。

国宝に指定されることが決まった白滝遺跡群出土の世界最大級の石刃（北海道立埋蔵文化財センター提供）

（2022年11月20日　読売新聞北海道版より）

【1】黒曜石について調べましょう。

【2】旧石器時代から弥生時代にかけて、日本列島にどのような変化があったのか、調べて書きましょう。

©The Yomiuri Shimbun

讀賣新聞
ワークシート通信
For SDG s
2022年 11月 30日
★★★★
温室ガス削減 三つ星農産物
読売新聞 教育ネットワーク
YOMIURI EDUCATION NETWORK

年　組（　）名前

サイン

温室ガス削減 三つ星農産物

燃料・肥料で算出 値札に

温室効果ガス削減の「三つ星」米の使用を知らせているおにぎり店（東京・虎ノ門の「TARO TOKYO ONIGIRI」で）

◆温室効果ガス削減の取り組みを強化して栽培された農産物について、農林水産省は削減の達成度に応じて3段階の「星」を付け、売り場で表示できる仕組みを創設します。
（2022年10月29日 読売新聞夕刊より）

農水省によると、世界の温室効果ガス排出量の23％にあたる年120億トン（二酸化炭素＝CO_2換算）は、農林業に由来する。欧州連合（EU）や米国は近年、削減に向けた新戦略を打ち出し、環境に配慮した食料生産のあり方を重視している。

農水省が創設する仕組みでは、農産物の生産過程で排出される温室効果ガスの削減率に応じ、5％以上～10％未満で一つ星（★）、10％以上～20％未満で二つ星（★★）、20％以上で三つ星（★★★）のロゴを値札やチラシなどに表示できるようにする。脱炭素に向けた生産者の取り組みをデータで裏付け、「星」の形にして売り場で示し、理解を促す。

削減率の計算には、昨年から開発していた「簡易算定シート」を用いる。生産者が農産物の種類や作付面積のほか、使用する燃油や化学肥料・農薬、プラスチック資材などの量をパソコンで入力すると、標準的な農法による排出量と比べた削減率が算出される。

農水省は、太陽光を活用した温室の導入や、植物を畑にすき込んで肥料にする「緑肥」の使用などを支援しており、算定シートには、こうした取り組みも反映できるようにする。虚偽入力で得た星を使えば、景品表示法違反となることも示し、偽装を防ぐ。

現在、実証事業として、米、トマト、キュウリの3品目について、東京、大阪、滋賀のスーパーや飲食店など約10か所で星を表示して販売している。アンケート調査などで効果を検証しながら、今年度中に削減率の計算対象を約20品目まで増やし、導入店も順次拡大する。その後、肉などの畜産物にも対象を広げ、2025年度までに国内での普及を目指す。

【1】国内の温室効果ガス排出量削減について、政府はどのような目標を掲げているか、調べて書きましょう。

【発展問題】環境省は、脱炭素につながる個人の行動を「ゼロカーボンアクション30」として公表しています。その中から、あなたがすでに取り組んでいることとこれから取り組もうと思っていることを、それぞれ裏に書きましょう。

©The Yomiuri Shimbun

読売新聞社は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

讀賣新聞
ワークシート通信

2022年 11月 30日

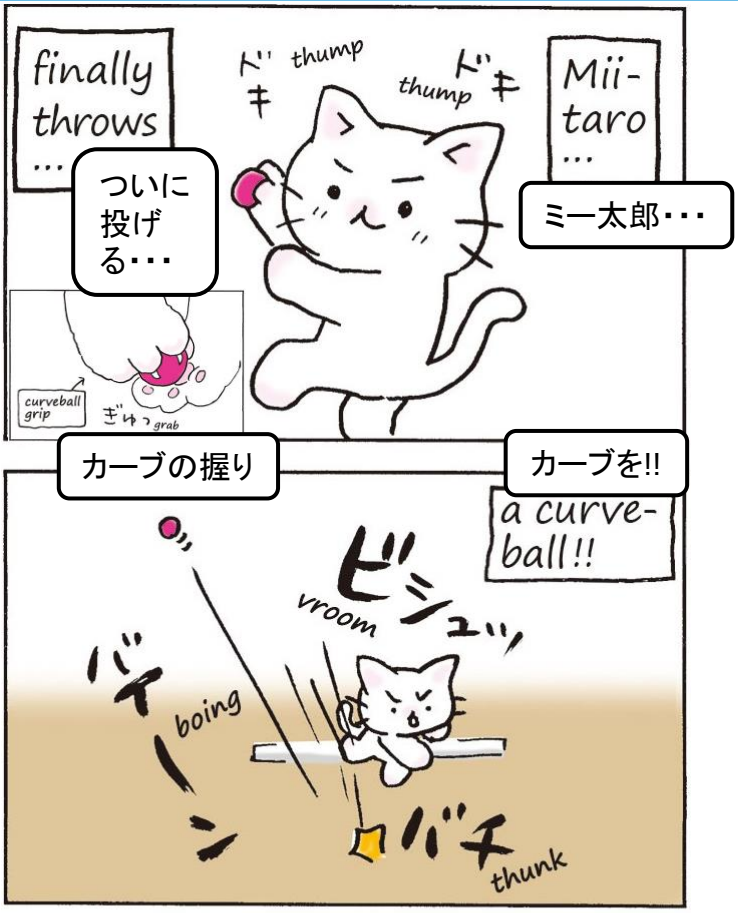
★★★

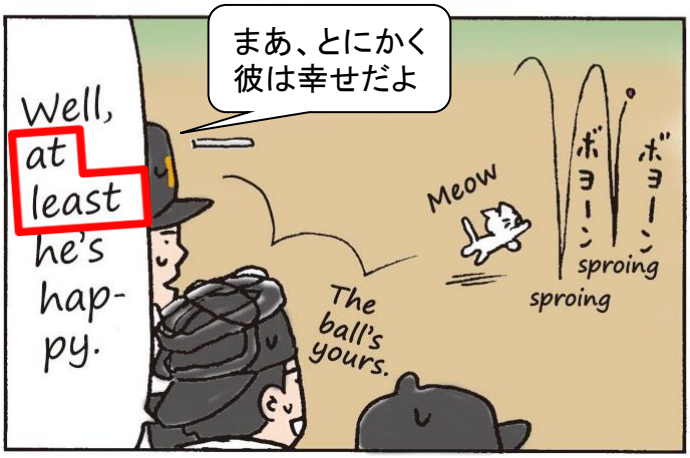
＜たのしい英語＞ at least

年　組（　）名前

サイン

読売新聞 教育ネットワーク
YOMIURI EDUCATION NETWORK





猫のピッチャー NEKO Pitcher 93
Kenji Sonishi

◆ミー太郎の小さな手に収まるスーパーボールなら、カーブを投げられるかもしれない。そう期待して挑戦しますが・・・

at least

少なくとも。とにかく

「least」は「little」の最上級で「最も少ない」という意味です。「least」の反対語は、「many」「much」の最上級「most」です。

★あわせて覚えよう★

- at most　せいぜい。多くて。
- It's the least I can do.

お安い御用です。当然のことをしたまで（Thank you.に対する返事）

単語帳　sproing：ボヨーン、ポーン

★なぞってみよう★

at least

at most

©The Yomiuri Shimbun

皆さんの投票で決める２０２２年日本･海外１０大ニュース

～授業で活用できます　児童・生徒さんの応募も可能です～

読売新聞社は、２０２２年の「日本１０大ニュース」と「海外１０大ニュース」への投票を募集します。日本１０大ニュースは１９４７年から、海外１０大ニュースは１９８９年から、それぞれ毎年のみなさんの投票で決定し、激動する国内、国際情勢の記録を刻んできた歴史ある企画です。

今年の読者投票の応募手引・要領は１２月３日の読売新聞朝刊と、読売新聞オンラインに掲載します。２０２２年のニュースを振り返る機会として、社会科の授業等で活用してはいかがでしょうか。児童・生徒の皆さんをはじめ、誰でも投票いただけます。

「日本」「海外」いずれも、約６０項目の候補から、順位をつけずに番号を１０個選んで投票いただきます。１２月７日（水）に配信するワークシート通信で、応募方法の詳細をお知らせするとともに、投票用紙として使える教材を添付します。投票締め切りは１２月１９日（必着)。結果発表は日本が１２月２４日（土)、海外が１２月２５日（日）の予定です。

投票項目がすべて１０位以内に入った「全項目的中」の方は、結果発表時に氏名を掲載し、賞品を贈ります。昨年は「日本」「海外」あわせて約５万通の応募がありました。皆様の参加をお待ちしております。

2021年読者が選んだ日本10大ニュース
圧巻 二刀流ショー
1 大谷メジャーMVP
「1年遅れ」輝いた
2 東京五輪 最多38メダル
3 コロナワクチン接種
5 熱演で上石流
4 眞子さま 小室圭さん 結婚

※２０２１年「日本１０大ニュース」発表紙面（１２月２５日付け読売新聞朝刊）

【問い合わせ】読売新聞東京本社世論調査部「１０大ニュース」係　yoron@yomiuri.com